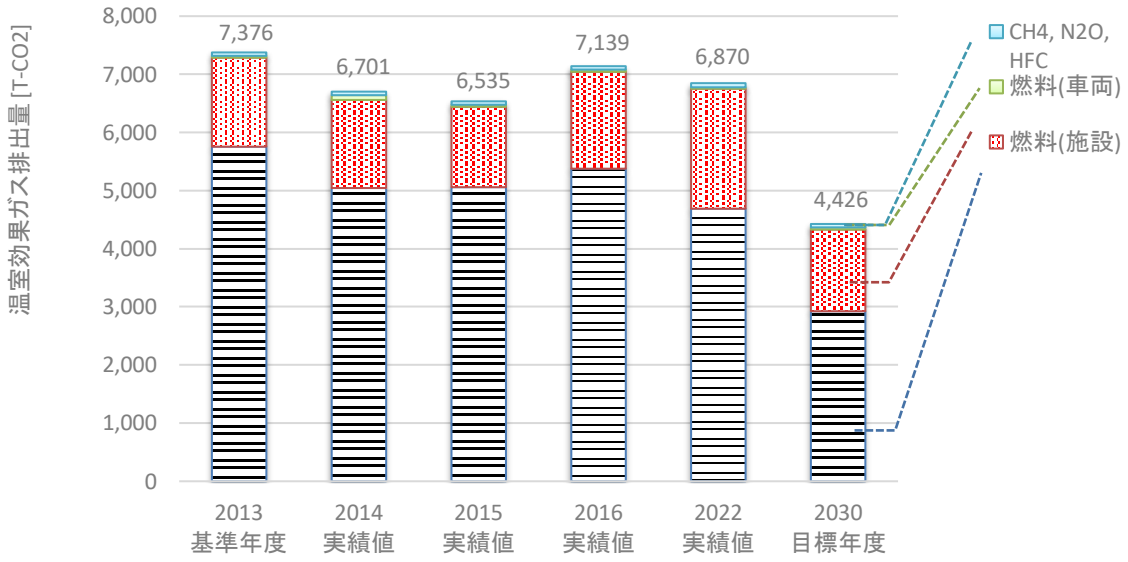
令和4年度（2022年度）犬山市役所の事務事業に伴う温室効果ガス排出量

■犬山市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量は、6,870t-CO_2です。
■基準年度である平成25年度（2013年度）と比較すると6.9%減少しています。
■主な減少要因は、施設の廃止や、電力使用量の多い施設でのLED照明や高効率空調機等への機器更新が進んだことなどが考えられます。

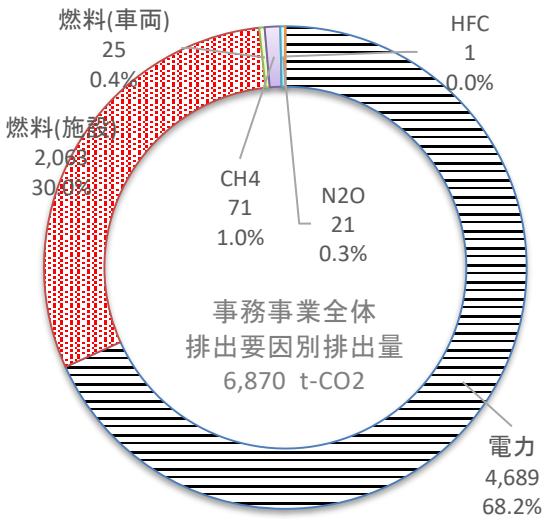
基準年度からの排出量の推移



排出要因別増減状況

排出要因		2013年度（基準年度）	2022年度	
		排出量（t-CO_2）	排出量（t-CO_2）	基準年度比増減
CO_2	電力	5,756	4,689	−18.5%
	燃料(施設)	1,531	2,063	34.8%
	燃料(車両)	31	25	−20.1%
CH4,N2O,HFC		59	94	60.8%
合計		7,376	6,870	−6.9%

温室効果ガス構成



※小数点未満を端数処理しているため、合計が一致しない場合があります。